



夢に向かって
は
翔ばたいて
「磨き・高め・支え」

大仙市立豊成中学校
学校報 NO.46
H30.3.1
文責 今野敏行

JARC贈呈式

☆2月22日、今年度のアルミ缶回収の収益金の一部から、八乙女荘に「車イス2台」、桜寿苑に「転落防止用柵」と「衝撃吸収マット」を贈呈しました。本来であれば、2月6日（火）に豊成中学校で両施設の方をお招きして贈呈式を行う予定でしたが、インフルエンザ等の流行があり延期をしておりました。そこで、今年度はそれぞれの施設へ代表生徒が出向いての贈呈式となりました。



衝撃吸収マットと転落防止柵



車イス



贈呈式

第2回学校評議員会



☆2月28日、校長室にて、草薙孝悦様、渡部敬子様、高橋正由様、高橋良清様の四名の学校評議員様のご出席を

いただき、第2回学校評議員会を開催しました。平成29年度の学校経営及び諸活動の取組について、教務部・研究部・生徒指導部等の観点から今年度の職員・生徒の活動成果を説明し、今後の課題・方策等について話し合いをもちました。また、保護者・生徒の学校生活アンケート結果をもとに評議員の皆様からは外部評価を頂きました。評議員の皆さんからは、保育園・小学校・地域との連携が素晴らしい、多くの学校行事中で生徒がよく頑張り、力を付けてきているなど、嬉しい言葉をいただきました。

孫娘
今年も海を越えてやってきました。かわいい孫娘の永奈。韓国の国際スクールに通い中学一年生で、6歳の時から1人、大仙市に遊びに来ている。
「おはちゃん、今年は何歳まで一人で行くの？仙台空港までの道は知らないよ。大丈夫」と明るく声を電話があった。仁川空港から角館まで1人で来るのは初めて。雪が降らず、夫と二人で角館に向かう。しほりくして新幹線が入ってきた。不安な気持ちで待っていたら、ホームにキヤリ

えんぴつ四季

「ハツグを押し、手を振りながら笑みを浮かべる永奈が見えた。私は一人、よく来た。寂しかった」と抱きしめ涙が止まらなかつた。無事に到着した孫の成長を実感した瞬間だった。昨年の夏に遊びに来た時は、永奈の母の母校である大仙市豊成中学校に一日体験入学したいと本人が希望。校長先生にお願ひして受け入れてもらい、楽しく交流することができた。
今回も体験させてもらうことになった。
藤澤 厚子(仮) 大仙市豊成
り、学校に向かった。友達と一緒に勉強し、給食をいただき、楽しく過ごせたこと話していた。朝、校舎に入った時の少し硬い表情は、帰る時には笑顔に変わっていた。玄關に1年生全員と先生たちが見送りに出られて、温かい激励の言葉を掛けてもらい、感動的な別れとなった。
学年通信には、国際色豊かなプライムファストと紹介されていた。学校には感謝の気持ちでいっぱいだった。学校に人生の中で、豊成中の体験は忘れられない思い出として心に残るだろう。私にとっても感動の1日だった。

2 / 27 さきがけ新聞より